

# 令和元年度 明石市地域自立支援協議会

## くらし部会 リポート Vol. 34 令和2年1月7日

発行元：明石市地域自立支援協議会 くらし部会事務局（明石市基幹相談支援センター）

住所：明石市貴崎 1 丁目 5 番 13 号（明石市立総合福祉センター1 階）

電話番号：078-924-9155 ファクシミリ：078-924-9134

【意見投稿用アドレス】 [akashi\\_jiritsushien@yahoo.co.jp](mailto:akashi_jiritsushien@yahoo.co.jp)

会員専用のメールアドレスをご用意していますので、皆様からの情報提供やご意見をお待ちしています。

みなさまこんにちは！くらし部会のワーキンググループ 生活介護事業者連絡会 です。

このワーキンググループでは、市内の生活介護事業者のサービス管理責任者等が集まり、事業所内の課題や利用者への支援のあり方について、意見交換や情報共有を行っています。

今年度は、実習等に関わることの多い近隣の特別支援学校の先生方と懇談の機会をもつこととし、第1回目として、11月19日に神戸大学附属特別支援学校 高等部 進路指導主任の黒川先生にご協力いただき、同校での見学・懇談会を開催させていただきました。当日の様子について、こぐまくらぶ明石の福井美鈴さんに報告いただきます。

まず前半に、小学部・中学部・高等部の順に校内を見学させていただきました。ちょうど昼休みの時間だったのですが、黒川先生より、生徒と職員と一緒に「あそび」を作っているとの説明がありました。「『自由時間だから自由に過ごしてください』と言うのが、生徒の一番苦手なこと」とのことでしたが、この点は成人でも苦手な人もいらっしゃるのでは、とても必要なことだと感じました。中学部では、“仲間と共に学び合う中で人間関係づくり”を目標とし、国語や数学等の科目以外に「しごと」の時間を設け、畑作業やグループでの活動に取り組まれていました。高等部では、生産活動の時間を通じて、生徒がきちんと理解して自分で選択して取り組むことを大切にし、技術より生徒の内面（自己肯定）を大切にしながら、物作りを通じた自分づくりに力を入れているというお話でした。学年や年齢相応の教室は一つ一つに温かみがあり、毎日来たくなる学校なのだろうなあと感じました。また、集団の中に個別の小部屋があり、集団に入れない生徒についての取り組みもなされていました。後半の先生方との懇談会では、実習や進路について、送り出す側の学校と受け入れる側の事業所のそれぞれの思いを共有しました。ご本人が卒業後の進路先でも切れ目なく支援を受けることで、環境の変化による負担をあまり感じることがないように、連携して取り組みたいという思いが、学校側にも事業所側にもあることが分かり、とても安心しました。今回の見学・懇談会をきっかけに、より一層連携を深めていきたいです。

